

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		03 03 02	中期総合計画主要施策番号				担当課	部・課	総務部職員課
事業名		職員宿舍管理事業費				内線		2184	
						E-mail		shokuin@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	異動に係る職員の負担を軽減し、業務の継続性に資するための宿舍を維持・管理する。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 人事異動に伴う職員の住居確保の負担を軽減し、県行政の遅滞ない遂行を図っている。また、老朽化が年々進み、修繕が必要な宿舍や入居率が低い宿舍がある。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 県の財政状況が厳しいことから、老朽化が激しい宿舍に係る建替えが進まない。また、職員数の減少並びに交通機関の利便性の向上や交通網の成熟により、遠距離通勤が可能になったことも入居率が低い宿舍がある要因となっている。							
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 今後も入居が見込まれる宿舍については、引き続き必要な修繕をしていく必要がある。また、新たな入居が見込まれない職員宿舍で、老朽化が著しいものや他での利用が見込まれるものは、用途廃止・所管換を含め検討する必要がある。							
	事業内容	・職員宿舍の修繕等維持管理 ・職員宿舍建設費の償還							
実施期間	S25 ~		根拠法令等	地方公務員法第42条、職員宿舍管理規則					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	職員の人事異動に伴う住居確保の負担を軽減し、県行政の遅滞ない遂行を図るため職員宿舍を確保する。また、効率的な宿舍管理を行う。		職員宿舍への入居見込みや居住環境に対するニーズを注視しながら、宿舍の確保・修繕等管理について適切に対処していく。			必要な宿舍を確保するとともに、修繕等管理に際し、緊急度や今後の利用見込み等も勘案し、効果的・効率的に執行した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	1,925,600	1,918,827	1,663,474	国庫・県単	県単	
	決 算 額 (B)		千円	1,911,385	1,905,278		実施方法	直接、委託	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	1,646,473	1,629,674	1,358,869	歳出節別内訳等	・委託料 133,350 ・使用料及び賃借料 1,688,032 ・工事請負費 60,728	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.00	1.00	1.00	(単位: 千円)		
		概算人件費 (C)	千円	7,140	7,149	7,149			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	1,918,525	1,912,427	1,670,623				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	職員宿舍管理戸数(6.1現在)		戸	2,101	2,057	2,057			
	職員宿舍入居率(6.1現在)		%	77.1	77.5	78.0			
	用途廃止数		棟・戸	10棟21戸	8棟17戸	未定			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・主に異動時における職員の住居の確保など、職員宿舍に対するニーズに変化はない。 ・異動時の職員の負担を軽減し、県行政の遅滞ない遂行を図るため、県が関与する意義は大きい。 ・管理戸数が多い長野及び松本地区については、管理委託して有効性・効率性を高めている。 ・必要性の低い宿舍については、用途廃止や所管換など財産の効率的な管理を進めていく。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・施設や設備の経年劣化等、修繕を要する部分については、迅速かつ適切に対処して、居住環境の維持・整備に努める。 ・入居が見込まれない職員宿舍で、老朽化が著しいものや他での利用が見込まれるものは、用途廃止・所管換を含め引き続き検討していく。						